

令和6年度 夢・志チャレンジスクール事業 学校別事業実施内容一覧

小学校

学番	学校名	事業の概要	主な活動例
1	大手町小	・地域の対象と深くかかわる豊かな体験活動と、体験を通した学びを自觉したり、深めたりする言語活動の充実を図った。こうした取組により、「～したい」「もっと～したい」という願いをもち、積極的に周りのもの・こと・人とのかかわることを通し、ふるさとに愛着をもち、自ら学び、ともにによりよく生きようとする子どもの姿につながった。	・友達や動物とかかわりながら、カラフル広場を創造する活動（1年） ・高田城址公園のよさを見つけ、地域の人とかかわり、自分の在り方を探る活動（3年） ・「地域の魅力」を視点に地域のよさや文化について学び、地域で生きることについて考えを深める活動（6年）
2	東本町小	・夢・志をもって活動する人との出会い、交流を意図的に設定し、児童が差別される人、弱い立場にある人のつらい思いや心の痛みに共感し、憤りをもつとともに、差別解消を目指して今の自分とこれからの自分のあり方を考えるようになった。	・植物や動物など命あるものとそれに携わる人との出会い、交流（1・2年） ・高齢者や地域住民との出会い、交流（3年） ・部落差別やそれに立ち向かっている人々との出会い、交流（6年）
3	南本町小	・生活科や総合的な学習の時間を中核として、各教科や領域で身に付けた資質・能力を地域で発揮する学びの場を工夫することで、「自尊感情や自己肯定感を高めながら自信をもって挑戦する姿」「地域（ふるさと）への愛着を高める姿」を目指した。そのために、体験的な学習の工夫と地域の人・もの・こととかかわる活動を実践した。	・なかよしだいさくせん～〇〇だいすき！～（1年） ・やってみよう（2年） ・調べよう、見つけよう、伝えよう、上越の魅力（3年） ・水の旅（4年） ・防災・減災？わたしたちのくらしと命（5年） ・真のリーダーへの道のり（6年）
4	黒田小	・地域資源「人、もの、こと」とのかかわりから地域のよさを実感することを通して、地域への愛着を抱き、地域に生きる子どもを育てる。そのことを実現するため、地域の「人、もの、こと」を活かした活動を設定し、年間を通じてかかわってきた。	・学校だいすき、みんななかよし（1年） ・すずめ ひまわり たんけんたい（2年） ・ハッピー探検隊 黒田の秘密をみつけよう！（3年） ・よつば調査隊 黒田の自然と環境を考えよう！（4年） ・にじいろる・る・ぶ～育てる、食べる、学ぶ～（5年） ・自己の生き方、地域を見直そう～過去から未来へ～（6年）
5	飯小	・主体的に学ぶ力を高めるため、繰り返し対象とかかわる中で子どもが課題を見出せるよう活動の持ち方を工夫した。地域の人から助言をもらったり、共通の関心をもつ子ども同士で解決方法を考えたりする中で、人とかかわるよさを実感する子どもが徐々に増えてきた。	・「野菜の栽培」（2年生） ・「命の学習」（3・4・5年） ・「上越をつくる・上越に生きる」（6年生）
6	富岡小	・富岡地域は、商業と農業を併せもつ地域である。1年生は、ヤギの飼育活動で、自分の成長にも関心をもたせた。3年生は、商業施設の訪問で、富岡の魅力に迫った。5年生は、米作りを行い、米販売や食問題等について考えた。6年生は、様々な職業に目を向け、講話や職業体験をして、自分の生き方を考えた。	・「みんな だいすき！」（1年） ・「めざせ！富岡マイスター」（3年） ・「見つめよう わたしたちの『食と命』」（5年） ・「きらめき未来予想図～自己を見つめる～」（6年）
7	稲田小	・生活科及び総合的な学習の時間を中核に、子どもが自主的・自律的に活動を進めるとともに、人に学び、自らの生き方を考えられるよう、教科・領域等との関連を図りながら体験活動を充実させた教育課程を編成した。また、学校運営協議会委員を交えて年間計画を作成し、地域により根ざした活動を展開できるようにした。	・動物飼育活動（1年生） ・野菜栽培活動（2年生） ・地域探検活動（3年生） ・川を調査する活動（4年生） ・地域の偉人に学ぶ活動（5年生） ・先人から生き方を学ぶ活動（6年生）
8	和田小	・地域の自然や「人、もの、こと」と進んでかかわることで、自他のよさや和田地区のよさ、課題を認識し、将来への夢を抱いて自分を成長させようとする児童の育成を目指した。縦割り班活動や学級活動で児童のかかわり合いを重視し、主体的で深い学びを生み出す活動を仕組んだ。	・生き物や人とふれあう・季節を楽しむ（1年） ・地域の方から教わりながらの野菜栽培（2年） ・地域探検や自然体験活動（3年） ・川にすむ生き物調べ・生息環境調べ（4年） ・稲作体験活動や食を考える活動（5年） ・地域の方等から学ぶキャリア教育（6年）
9	大和小	・釜蓋遺跡や大和神社、上越妙高駅など地域の伝統や魅力を発見することができた。子どもたちは学んだことや地域のよさについて発信したいという思いをもち、大和フェスタで伝えたり、お宝マップやポスターを作ったりして、地域の人に学びを伝えた。	・「だいすき いっぱい！」（1年） ・「ぐんぐん～きずなチャレンジ～」（2年） ・「ひまわりたんけんたい やまトレジャー！」（3年） ・「ふるさとの恵み 矢代川」（4年） ・「作って食べて考えよう食と私」（5年） ・「あなたも私もみんなハッピー!!」（6年）
10	春日小	・上杉謙信公をはじめ、地域の人やふるさとへの愛着を深めながら、主体的に学び、自分を見つめるとともに、春日地域の人々や自然、諸行事とゆたかにかかわり合う子どもを育てることを目指した教育活動を展開した。地域の「ひと・もの・こと」とかかわり合いながら自分を見つめ、よさや生き方について考える活動の充実を図った。	・「見つけよう 育てよう みんなでわくわく つばさっ子」（2年） ・「出陣！！かがやき探検隊 ～春日山の宝を見つけよう～」（3年） ・「ひかり米プロジェクト」（5年）
11	高志小	・生活科や総合的な学習の時間を中核に、地域の自然（森や川）にふれたり、地域の人（田圃や畑の先生）とかかわったりする活動を主に展開した。地域の「人・もの・こと」と直接かかわることを通して、地域への関心を高めるとともに、主体的に課題解決しようとする子どもの姿が多く見られるようになった。	・すてき発見！ひまわり探検隊（3年） ・サーチ 正善寺川（4年） ・みつめよう私たちの食ライフ（5年）
12	諏訪小	・生活科や総合的な学習の時間を中核に各教科との関連を図り、「諏訪小カリキュラム」に沿った学習を展開した。中核となる行事や活動を設定し、これらの活動や学習を通して、課題や対象に前向きにかかわって学ぶ子、身に付けたことを生かして深く学び、自分の考えをもてる子、仲間と協力して学び、一歩上の自分（たち）を創り続ける子の育成に取り組んだ。	・「ヤギや野菜を育てよう」（1・2年） ・「ともに すわミックス」（3・4年） ・「すわビザを作ろう」（5・6年）
13	三郷小	・地域の教育資源を活用し、その道の達人に学び、五感に響く体験活動と体験と思考をつなぐ表現活動を設定した。地域の「人・もの・こと」や自然に触れたり、学んだりすることを通して、「ふるさと三郷」への愛着を深めた。学習のままと地域への発信を通して、目的に向かって、友達と協力し合いながら主体的、意欲的に取り組む姿を実現することができた。	・なかよし いっぱい（1・2年） ・三郷びいす探検隊～三郷のすてきを調査しよう～（3年） ・ひまわり調査隊～三郷の自然について考えよう～（4年） ・一歩、前へ！からふる学年プロジェクト 「米作り」「仲間づくり」（5年） ・明日へのステップ～探そう未来への道しるべ～（6年）
14	戸野目小	・郷土の偉人である前島密の教えを胸に、郷土への愛着と郷土に生きる誇りをもち、大きな「志」を抱いて、未来を切り拓く子どもを育む。そのために、「夢おこす力」「みつめる力」「郷土愛」「かかわる力」「やりぬく力」をキャリア教育の視点とし、地域の自然・歴史・文化・人・産業などの教育資源を生かした「ふるさと戸野目」体験学習に取り組んだ。	・ぐんぐん育てわたしの野菜（2年） ・発見！戸野目のお宝 ～すまいる探検隊が認定します～（3年） ・つばさ米をつくろう！～お米から学ぶこと～（5年）

学番	学校名	事業の概要	主な活動例
15	上雲寺小	・子どもたちの心が動くような活動を、主に生活科や総合的な学習の中で仕組み、表現力や問題解決力、郷土愛を育むことを目的とした。各学年が子どもたちの興味関心に基づいた活動を展開するとともに、創立150周年に向け、教育活動全体を通じて、「150」という数字にちなんだ活動や全校での共同制作などを行った。	・「ぐんぐんそだて わたしのやさい」（2年） ・「上越の魅力を知ろう、発信しよう」（5年） ・「人とかかわり、人とながり、生き方を学ぼう」（6年）
16	大町小	・「わくわく学習」（生活科、総合的な学習の時間の総称）を中核に据え、中型動物飼育や地域の伝統文化の体験など様々な体験活動を通して、人・もの・ことと繰り返しかわり、子どもたちは自己の思いの実現を目指して活動に取り組んだ。また、地域の人や活動協力者と深くかかわることで、地域のよさを実感するとともに、自分ができることを地域に働き掛けるようになった。	・「『あい』らんど」（1年） ・「からふるアートプロジェクト」（4年） ・「町家めぐり」（5年）
17	高士小	・善兵衛学習を中核に据え、学校及び地域の人・もの・ことと繰り返しかわることを通して、子どもは対象に心を寄せ、思いや願いを膨らませて活動に取り組んだ。また、地域の人や岩の原葡萄園の方と深くかかわることで、地域のよさを実感し、郷土愛を育むとともに、善兵衛翁の生き方から自分を見つめ直す姿が見られた。	・いきもの大すき～いのちあるものを育てる～（1・2年） ・もっと知りたい ぶどうのこと・善兵衛さんのこと（3・4年） ・「川上善兵衛さん」の生き方を見つめて、自分の未来を思い描こう（5・6年）
18	八千浦小	・地域探検や地域人材とのかかわりなど、地域素材を生かした活動を展開し、児童が意欲的に取り組む姿が見られた。体験したことや学んだことを振り返り、自分なりの方法で表現する活動を継続してきた。学習発表会では保護者、地域の方に学びの成果を劇や踊り、歌などで発表した。	・「八千浦の宝をリサーチ！」（3年） ・「八千浦の海・環境調査」（4年） ・上越の食「発酵食調査」（5年）
19	直江津小	・ふるさと直江津にある様々な人・もの・ことと出会い、探る活動を通して、直江津のよさに気付き、大切に思うようになった。また、活動を通して、人間の多様性を認め、互いに尊重しつつ、誰もが夢と希望をもって、生き生きと過ごせる社会を創造しようとする思いをもった。	・「わくわくいっぱい みんななかよし」（1年） ・「直江津の宝」（3年） ・「直江津のしょく（食・職・色）」（5年）
21	直江津南小	・生活・総合的な学習の時間を中核として、地域の人、もの、こととの交流や情報発信、地域貢献を進め、地域を愛する子どもの育成に取り組んだ。また、夢の実現や志を貫いている人の生き方に触れる活動を仕組み、自分の夢や目標に挑戦しようとする子どもの育成を目指した。	・「知ろう！かかわろう！直江津のまち」（3年） ・「ぶらり直江津まち探訪」（5年） ・「この指とまれ あおぞらハウス」（6年）
22	北諏訪小	・子どもの興味関心を捉えた活動のテーマ設定に、学校運営協議会の方からの助言も加え、活動を進めてきた。子どもが主体的に学び、思考力・判断力・表現力を発揮し、深い学びの実現につながるよう、意図を明確にした体験活動を工夫したことで、児童の考える幅が広がった。	・「みんな大好き」～野菜の栽培、町探検、自分の成長を見つめる～ ・「発見！飯田川」～人々と水とのかかわり、森と川とのつながり～ ・「平和学習」～人権学習、同和学習の内容も踏まえ、本当の平和とは何かを考える～
23	保倉小	・地域の方から学ぶことを重視して活動するとともに、主体的・対話的な学びが実現できるよう、課題解決の過程を大切にした。また、振り返りを重視し、学びの内容と児童自身の成長について確認した。	・ヤギの飼育活動（1年） ・地域を知る、伝統芸能を知る（3年） ・ほくら地域を元気にしよう（6年）
24	有田小	・生活科や総合的な学習の時間を軸として、飼育・栽培活動を取り入れた教育課程を開発し、実践するため、飼育小屋・学校畑・学校田・学級園などの拡充や補修、借用等を行った。活動では地域との連携を図り、積極的に講師として招いたり、地域の先達としての願いや意見等も取り入れたりした。	・ヤギ2頭の飼育活動（1年） ・野菜類の栽培活動（2年） ・地域の公共施設・文化財等の調査活動（3年） ・リージョンプラザを材とした活動（4年） ・稲作体験活動（5年） ・地域の施設・文化財を活用した活動（6年）
25	春日新田小	・直東学園（直江津東中学校区の各小中学校）で推進している小中一貫したキャリア教育や自校の特色を生かした教育活動をベースとして、夢と志、郷土愛を育む教育活動を教育課程に位置付ける。年間を通じて、視覚的カリキュラム表を修正しながら、目指す子ども像の実現に努める。	・ふわふわ アルバカライフ（1年） ・きずな探検隊～お宝見つけ隊 調べ隊 伝え隊～（3年） ・えがこう 私の未来予想図 ～プロフェッショナルに学ぶ仕事の流儀～（6年）
26	国府小	・主体的に学ぶ力を高め、自己の生き方について考えを深める子どもを育成するため、子どもの思いや願いに沿った探求課題を設定し、解決に向かう過程を大切にした。体験と言語活動を大切にした学習を重ねることで、子どもは、体験の価値や自身の成長について実感することができた。	・チャレンジいっぱい！ なかよしいっぱい！にじひろば（1年） ・大好き！国府・上越 うみ学年 お宝探検隊（3年） ・国府・地域のえがおつくり真剣隊（5年）
27	谷浜小	・子どもの思いや願いを大切にした活動を組織し、地域の方々から直接的かつ体験的に学ぶ機会を多く設定した。谷浜・桑取地区の自然、歴史、文化に触れ、これを大切にする人々から学ぶ中で、子どもたちのふるさとへの誇りと愛情が大きく育まれた。	・ぐんぐんそだて わたしのやさい ・桑取川探検隊 ～守ろう！たにはま・くわどりの里～ ・地域を見つめ、自分のこれからの生き方について考えよう
29	高田西小	・ふるさと・地域の「人・自然・もの・こと」に興味をもって探究し、ふるさと・地域の一員としての自覚と愛着を深め、仲間と共に成長する姿を目指して、教育活動を構想し実践してきた。自分を見つめ、仲間との絆を深め、主体性を高めることができた。	・「みんなと わ！ わ！ わ！」（1年） ・「ひまわりわくわく」（2年） ・「にじ探検隊 58人の地域自慢」（3年） ・「ばく・わたしの大切にしたいこと」（4年） ・「つながる つなげる ～上越の食&仲間～」（5年） ・「かがやく私 かがやく未来」（6年）
30	安塚小	・子どもの主体的、協働的に学ぶ力を高めるため、子どもたちの思いや地域の人材や素材を生かした体験活動の充実を図った。学びのフィールドを地域に広げ、地域の方と触れ合いながら、繰り返し対象とかかわることを通して、子どもたちは地域のよさに気付くとともに地域に対する愛着や意欲を高めながら活動に取り組んだ。	・大好き！やすづか ～かかわる、見つめる、考える～（1・2学年） ・わたしたちの川物語（3・4学年） ・ふれ合い・発見・成長 ～地域に学び、未来につなげよう～（5・6学年）

令和6年度 夢・志チャレンジスクール事業 学校別事業実施内容一覧

小学校

学番	学校名	事業の概要	主な活動例
31	浦川原小	・地域の特色ある「人・もの・こと」のよさに充分没入活動に重点を置き、ふるさとへの愛着と誇りを育むことを中核とした教育活動を継続した。地域素材を生かした体験活動と振り返りを往還させ、自分の思いや考えを明確にしたり、自他の考えを比較したりすることで自分の考えを深めるサイクルで実践に取り組んだ。	・ぐんぐんそでわたしの野さい（2年） ・浦川原トライトライ（3年） ・浦川原芸能文化こども保存会（4年） ・地域の伝統と文化体験教室（4、5、6年） ・おいしい楽しいマイ（米）ライフ（5年） ・地域の人々を支える社会福祉体験（5、6年）
34	大島小	・ふるさと大島を愛し、主体的に学習や活動に取り組む子どもの育成を目指して、地域学習や人とのかかわる活動を実施した。地域の自然や人と接することで、その魅力を感じ、考え、学んでいた。子どもたちは、新たな気付きを得たり、地域の方の喜ぶ姿を見たりすることを通して、自分の成長を確認することができた。	・「ウサギの飼育」（1・2年） ・「大島の水を探ろう」（3・4年） ・「大島子ども寄席」と「雪割太鼓の継承」（5・6年） ・「アサガオの観察」 ・「サツマイモの栽培・調理」 ・「夢・志を育む講演会」（全校）
35	牧小	・体験的で探究的な学習を積み重ねることで、児童は実感的理解を深め、学びと生活が強く結び付いていることに気付くことができた。また、地域の自然や人の姿から、ふるさと牧への愛と誇りをもち、自分の将来を考えることができた。	・「みんななかよし みんなともだち」（1・2年生） ・「大切にしよう！ つながる水と森」（3・4年生） ・「体験しよう！調べよう！ 伝えよう！牧の魅力！」（5・6年生）
36	柿崎小	・ふるさと柿崎を愛し、主体的に学ぶ力を高めるため、動植物や地域の自然や歴史、人と探究的にかかわることを大切にした。出会いから生まれた感動体験と問題解決的な学びを蓄積することで、学びに向かう力やふるさとに誇りをもって大切にしようとする姿が見られた。	・「力を合わせて つくろう！ みつけよう！ つばさ43」（2年） ・「柿崎の御馳走」（5年） ・「未来につなごう柿崎魂」（6年）
37	上下浜小	・学校にかかわる多くの「人・もの・こと」との結び付きを深めながら、教育目標である「ふるさととくじら学校を愛し、自信をもって行動する浜っ子」の実現を目指した。地域の自然や文化への興味・関心が高まり、意欲的に活動する姿が見られた。	・「みんな だいすき」（1年） ・「元気にそでて！」（2年） ・「海は私たちの宝物か？」（4年）
38	下黒川小	・地域の「人・もの・こと」にかかわる活動の充実をさせることで、主体的に学ぶ力の向上を目指した。課題に対して、自ら「知りたい、調べたい、伝えたい」と意欲的に活動したり、子どもたち同士で相談したり、協力したりして課題解決に向かう姿が見られるようになった。	・「わたしとつながれ！ひと・もの・いのち」（低学年） ・「まちのたから」（中学年） ・「未来へつなぐ ～社会と人と～」（高学年）
40	大潟町小	・地域の教育資源を活用し、人、もの、ことにかかわる本物体験を行った。活動を通して生まれた疑問や課題に、仲間と知恵を出し合って解決したり、地域イベントに主体的に参画・協力し、ふるさと大潟に自分たちができることを考えたりすることができた。	・「ヤギの飼育」「野菜づくり」を基に、 動植物の成長と自分の成長を振り返る。（1、2年） ・「大潟の自然環境を守る」（5年） ・「大潟の魅力PR大作戦」（6年）
41	南川小	・南川小学校区や頸城区をはじめ上越地域の「人・もの・こと」とかかわる活動を、生活科や総合的な学習の時間を中心に道徳や特別活動とも関連させながら推進した。わくわくしながら、自分の課題を追究しながら学ぶ児童の姿を、学年、学校だよりやホームページを通じて保護者、地域に広く発信するよう努めた。	・「つくる！見つける！遊ぶ！ ～あおぞらばたけ～」（2年） ・「きこう！さがそう！見つけよう！ くびきのきらめき伝え隊！」（3年） ・「学校でのつながる人と歴史」（6年）
42	大湊小	・児童が将来の夢や目標がもてるように、地域の「ひと・もの・こと」に触れながら、野菜の栽培や稲作体験、地域へのボランティア活動等をしてきた。地域の人の知恵や温かさに気付くだけでなく、地域の将来について考えたり、地域への思いを感じ取ったりすることができた。	・「やさいともだち みんなとなかよし」（2年） ・「保倉川 見つけ隊」（4年） ・「にじ米育成プロジェクト」（5年）
43	明治小	・生活科では野菜づくりを、総合的な学習の時間では大池周辺の池や森、大蒲生田の里山、米づくりをテーマとし、地域の自然や人々の営みに触れる機会を繰り返し設けた。教科等との関連を意識する活動にすることで、体験を通した実感を伴った知識を得ることができた。	・「レインボーにかがやけ！ まちもはたけもぼくたちも！！」（1・2年） ・「スマイル学年！大蒲生田の里山に行く」（4年） ・「米こめプロジェクト ～米づくりからの“そうぞう”～」（5・6年）
44	吉川小	・生活科・総合的な学習の時間と連動し、学年ごとにテーマを設定して、吉川区の自然や文化、人々との触れ合い、体験活動を大切に学習に取り組んだ。学習を通して、ふるさと吉川のよさを実感するとともに、自己有用感を高めることができた。	・「にこにこ ぼくじょう」（1年） ・「にじいろ米を育てよう」（5年） ・「ウェル・ビーイング～幸せの作り手～」（6年）
45	中郷小	・「ふるさと中郷に学び、中郷を愛する子ども」の具現化に向けて、小・中で連携して「自己有用感を高める」ことを共通のビジョンとして取り組んできた。児童一人一人が、地域のすばらしさを感じ、地域の人、もの、ことへの意識を高めるとともに、地域の方々に支えられていることを実感しながら活動した。	・「ようこそ地域の達人」（4～6年） ・「調べて伝えよう、中郷区と縄文時代」（4年） ・「米作りから「食」を学ぼう」（5年） ・「助け合って生きる」（6年） ・「ようこそ先輩」（全校）
46	板倉小	・学校統合により広がった校区の中で、郷土の偉人や板倉の自然、人とのかかわりを通して、「ふるさと板倉」への愛着と誇りをもち、「ふるさと板倉」の未来と自分の将来に希望と夢を描く児童の育成に取り組んだ。「体験」と「人とのかかわり」をキーワードに、主に生活科や総合的な学習の時間と関連を図りながら取り組んだ。	・「みんなとなかよし よろしくね」 ～ヒツジさんとなかよし～（1年） ・「ひかり探検隊 板倉の宝物を 探そう」（3年） ・「これが私の生きる道 みらい夢発見プロジェクト」（6年）

学番	学校名	事業の概要	主な活動例
49	豊原小	・探究的な学習において、課題解決に向けて主体的・協働的に取り組むとともに、積極的に社会に参画し、「ふるさと豊原」を愛する態度を育てる活動を展開した。体験から生まれる気付きや思いから派生する課題の探究とその解決の過程を大切にすることで、新たな課題が生まれたり活動の幅が広がったりした。	・みんなともだち！ みんななかよし！ みんな だいすき！（1年） ・ぼくたち わたしたち 板倉たんけんたい（3年） ・米とわたし ～つむぎ写真展～（5年）
50	清里小	・「地域のひと・もの・こととつながり、ふるさと清里を愛する子」の具現を目指して、清里らしさを生かす稲文字活動を中核として、地域の自然や文化、産業を学ぶ活動をカリキュラムに位置付けた。地域の達人との交流、文化祭での発信、地域への貢献などを通して、自分たちの思いや願いの実現を図ることができた。	・清里のお宝ゲットだぜ！（3年） ・清里の食、清里のよさを広めよう（5年） ・持続可能な清里のために 学ぼう・考えよう・やってみよう（6年）
51	里公小	・本物とかかわる体験活動を通して、自ら気付き判断する力、友達と協働して学ぶ力を育成することを重視している。地域の財を訪ねる活動や、地域の味噌会社や米・ネギの生産者とともに校区の特産物を一緒につくったり、販売したりする活動を行った。今年度は里公小最後の年となり、地域で一緒に盛り上がり、6年生が里公祭りを企画・開催した。	・「三和『お宝』探検隊！！！」（3年） ・「三和区と言えば？」（4年） ・「達人に学ぶ～里公祭り～」（6年）
52	上杉小	・地域のよさを見付け、地域を愛する心情を育てるよう、地域の教育素材に触れながら課題を設定し、仲間と話し合いながら知恵やアイディアを共有させる過程を大切にした。自分たちができること、また実現に向けて何が必要かと考え質問したり、互いの考えを交流させたりする姿が見られた。	・「元気に育て 上杉やさいランド」（2年） ・「お米 再発見」（5・6年） ・「三和地域の民話を楽しもう」 さんわお話クラブより（全校）
53	美守小	・地域の教育資源を活用し、ヤギの飼育や地域探検、米栽培、福祉の活動を行った。地域の人・もの・ことのかかわりを通して、ふるさととのよさや魅力を実感するとともに、児童が自分自身の成長に気付くことができた。さらには地域に生きることの大切さと人の思いについても理解を深めた。	・動物飼育活動、野菜栽培活動（1、2年） ・三和区内の地域探検活動と発信活動（3、4年） ・稲作体験活動（5年） ・地域との触れ合いを通じた福祉活動（6年）
54	宝田小	・地域に誇りをもち、自信をもって行動できる子を目指し、地域の「人・もの・こと」のかかわりを大切にしてきた。計画的・継続的な活動を進めていくことで、かかわってくださる方々に感謝の気持ちをもったり、地域のよさに気付いたりすることができた。	・「にこにこランド」（1年） ・「名立ふうど記」（4年） ・「棚田行楽紀」（5年）

令和6年度 夢・志チャレンジスクール事業 学校別事業実施内容一覧

中学校

学番	学校名	事業の概要	主な活動例
1	城北中	・中学校区である、中ノ俣地域や本町の魅力と課題を再発見する探究活動を行った。城北祭（文化祭）で本町商店街とコラボレーション企画を実施し、オリジナル商品や各種体験コーナーなど様々なブースを設置したり、地元食材を使ったアイデア料理を作成したりするなど、地域ために貢献できることを考えた。	・ナカノマ探(1年生) ・本町コラボ(2年生) ・持続可能な街づくり～ 未来のカタチ ～ (3年生)
2	城東中	・充実感をもたせながら、生徒の思いやりの心や自己肯定感を高めていく取組を教育活動の中核として推進し、自分を見つめ直し、今後の生き方を考えるようになった。	・「快適な衣生活」 (1年) ・「働くこと」について考える (1年)
3	城西中	・当校の教育活動の中核をなすものは、「共生」の理念である。「他者を尊重し、多様な人たちと協働すること」を大切にした活動を通して、共生社会の創り手を育てていくことを目指した取組を推進した。	・「職業人に学ぶ会」 (1年生) ・「職場体験学習」 (2年生) ・「音楽祭」 (全校)
4	雄志中	・将来に夢や希望をもち、その実現を目指し主体的にかつ粘り強く活動に取り組む生徒を育むため、様々な活動に取り組んだ。地域住民と協働し、地域住民から学ぶ取組を通して、生徒は郷土への愛着や地域の一員としての意識を高めるとともに、自己有用感を高めた。同時に、自分の将来を考えるとともに、将来設計への意識を高めた。	・偉人学習 (1年) ・職場体験学習 (2年) ・保育園訪問学習 (3年) ・花いっぱい活動 (全学年) ・雄志太鼓の演奏学習と、地域での演奏発表 (有志生徒)
5	八千浦中	・地域とかかわり、連携を深めながら、キャリア教育を核とした教育活動を展開することで、生徒の主体性や自己有用感、郷土愛が育まれつつある。	・「地域の魅力発信・活性化プロジェクト」 (1年生) ・「やちほ海まつり」 (1～3年) ・「八千浦学園絆遠足」 (1～3年)
6	直江津中	・当校のスクールポリシーである「いざ世のために」の実現に向け、自己の生き方を考え、夢や目標の実現に向けて取り組む活動を行った。体験活動や講話、訪問を通して、自己を見つめ直し、自己の生き方を考えるようになった。	・地域探究学習「直江の津」 (1年) ・ゆめチャレンジ「職場体験学習」 (2年) ・いざ世のために「進路探究学習」 (3年)
7	直江津東中	・学校運営協議会・直東学園運営協議会などの協力のもと、全学年において計画的・系統的に、人権教育、キャリア教育を実施した。すべての町内会長を招いた「立志式」を行うことができ、厳肅な雰囲気の中で立志の意識を高めるとともに、町内会長とのつながりを深めることができた。	・いじめ・見逃しゼロスクール集会 「ようこそ先輩」 (1年) ・立志式 (2年) ・天文学習 (3年)
8	春日中	・夢や志をもって計画的に学習や活動に取り組み、社会や地域のために貢献できる生徒へと成長できることを目指して、教育活動を仕組んだ。職場体験活動は、生徒一人一人が責任をもって自分の役割を果たし、事業所の方とかかわることを通して、自らの生き方や進路について考える態度を育むことができた。	・「絆づくり校外学習」 (1学年) ・「職場体験」 (2年生) ・「命・絆 講演会」 (3年生)
9	潮陵中	・地域の方を講師として、地域の自然、産業文化、歴史について学ぶ体験活動を行った。また、その活動を通して、地域に誇りをもち、様々な遺産の継承者としての意識を高めることができた。	・地域お宝めぐり (1・2年) ・鮭捕獲体験 (全校) ・鮭加工体験 (全校)
11	東頸中	・生徒は、地域の方との出会いやかかわりを通して、挨拶や対人関係に関する態度やスキルを身に付けてきた。また、地域の方から学校の取組や生徒を認め、評価してもらうことで、生徒の自己有用感を高めてきた。このような活動を通して、地域の中の学校を意識して、地域との絆を深めた。	・「花いっぱい運動」 (全校) ・「地域の達人に学ぶ会」 (全校) ・「お手紙プロジェクト」 (全校)

学番	学校名	事業の概要	主な活動例
13	牧中	・地域の行事に参画したり、地域や社会で活躍している講師を招いてミニ講演会を開いたりした。キャリアパスポートの記述では、達成感や自己の成長を感じられる生徒が多かった。	・よさこいソーラン (小中合同) ・現代的なリズムのダンス ・ようこそ先輩+ (全校講演会) ・「牧」を再発見&発信する (全校)
14	柿崎中	・ふるさと柿崎を愛し、地域と主体的にかかわることのできる力を高めるため、全校生徒で海岸清掃ボランティアやあいさつ運動に取り組み、故郷を愛する気持ちを強めることができた。また、地域貢献活動の企画・計画を主体的に考えることで、地域の課題解決に向けて主体的に取り組む経験を積むことができた。	・職業人に学ぶ講話 (1・2年) ・異学年交流会 (1・3年) ・命・きずなを考える講座 (3年) ・海岸清掃ボランティア (各地区毎) ・柿崎時代夏祭りの補助 (有志)
15	大潟町中	・地域の多くの方から心温まる協力を数多くいただき「本物の授業」が実践できた。様々な体験活動を通して、自分のよさを発見・再確認したり、学ぶ楽しさを味わったりでき、郷土への愛着や誇りをもち、地域や社会に貢献しようと努力・行動する姿が見られるようになった。	・書写教室 ・体操教室 (ジムリーナ) ・ダンス教室
16	頸城中	・地域環境美化活動、地域活性化活動、夢・志講演会を実施した。地域と連携した活動を行ったり、活動内容を地域に発信したりして、生徒のふるさとへの愛着を育み、地域との連携協力体制を構築した。通年にわたり地域のダンス講師や花の会の方などから指導をしていただきながら活動することができた。	・花いっぱい活動 (全学年) ・全校ダンス発表会 (全学年) ・くびきの祭典、くびき文化祭 (吹奏楽部、よさこい部) ・にいがた総おどり (よさこい部)
17	吉川中	・吉川区出身で、活躍している人を招聘し話を聞いたり、職業に関する学習を進めたりして、生徒自分自身がよりよい生き方について考える活動を行った。吉川区の三大まつり(やったれ祭り、福祉祭り、酒祭り)等、地域行事にかかわることによって、ふるさと吉川への愛着や郷土を愛する気持ちを育てる活動を推進した。	・1年生「ふるさと学習」 ・2年生「職場体験活動」 ・3年生「やったれ祭りへの参加」 ・「花いっぱい運動」 ・ふるさと講演会 ・「命・きずなを考える講座」
18	中郷中	・「ふるさと中郷に学び、中郷を愛する子ども」の具現化に向けて、小・中で連携して「自己有用感を高める」ことを共通のビジョンとして取り組んできた。地域行事に中学生も自ら進んで参加し、地域の方々とかかわりをもてたことで、「地域に貢献できた」という自己有用感の高まりも見られた。	・高齢者とかかわろう (1年) 「NIEと関連を図るまとめ」 ・中郷や他の地域について知ろう (2年) 「職場体験学習」 ・中郷に貢献しよう (3年) 「防災学習」 ・絆スクール集会 (小学校5・6年～中学1・2・3年)
19	板倉中	・昨年に続き、板倉の自然や人とかかわりを通して、「ふるさと板倉」への愛着と誇りをもち、ふるさととの未来と自分の将来に希望と夢を描くことのできる生徒の育成を目指した。地域のために貢献できることを考えた活動を行った。主体性と協働性を身に付け、地域の未来について考える貴重な時間を共有した。	・板倉のよさ、地域探訪とSDGsへの取組 ・地域の方とのふれあい ・地域貢献活動
20	清里中	・地域の「ひと・もの・こと」とかかわり、語り合う場面や内省する場面等の経験を通して、自他のよさを認め合い、共にによりよく生きようとする生徒の育成を目指した。地域を知り、人生の先輩に学び、ふるさとに愛着を感じることができ生徒を育む取組を推進した。	・「高田特別支援学校交流会」 (1年) ・「職場体験活動」 (2年) ・「地域貢献」 (3年) ・「人間関係プロジェクト」 ・「夢をかなえるプロジェクト」 ・「命・きずなを考える講座」
21	三和中	・地域振興活動として地域の商店と連携しながら商品開発や宣伝活動を行った。新潟県生態研究会の指導を受けながら、オニバスの保護活動を中心とした自然環境の整備に取り組んだ。地域の住民を講師に迎え、職業に関する講演会を開いた。様々な職業人の話を聞き、自らの将来を考える上で有意義であった。	・「職業講話」1・3年 ・「職場体験」2年 ・「谷内池の保全活動」3年 ・「地域振興活動」3年 ・「命と絆講座」3年
22	名立中	・プロに学ぶ会では、3組の講師を招聘し、生徒の興味関心に応じた講話を聞き、体験学習を行った。地域貢献活動ではポケットビーチの清掃や近隣バス停、校地内の清掃活動を行った。地域の方と協力して笑顔で作業をする場面が見られた。健康維持及び地域行事を盛り上げるため、名立駅伝に全校で参加した。	・「プロに学ぶ会 (職業講話・体験)」 (全校) ・「地域貢献活動」 (全校) ・「名立駅伝」 (全校)